

【分野】 花 き

スイートピーの夜間冷房による着花安定化対策

【要約】

夜間冷房を活用すると、スイートピーの初期生育が改善され、落蕾が抑制できます。

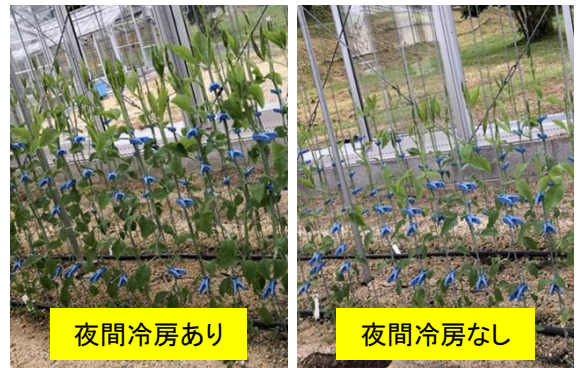
【背景】

近年、秋から春にかけて平年より気温が高い年が多く、スイートピー栽培では高温による初期生育の抑制、寡日照・高夜温による落蕾の発生、それらによる切り花品質及び収量の低下などが問題となっています。

【結果】

9月上旬から10月までの秋季の夜間冷房（20℃）と、11月から12月の寡日照・高夜温時の冬季の夜間冷房（8℃）を組み合わせると、初期生育が向上し、収穫開始が早まり、落蕾の発生が減少することで年内の収量が増加しました。

また、春季の冷房と25%の遮光で切り花の日持ちが長くなり、収穫期間を延長でき、増収しました。



生育状況（10月下旬）

秋季・冬季の夜間冷房が初期生育及び年内収量に及ぼす影響

試験区	初収穫日 (月/日)	10/25		11~12月	
		草丈 (cm)	葉面積 (cm ²)	落蕾切花率 (%)	可販収量 (本/株)
秋季・冬季夜間冷房区	11/8	76	31	18	7
無処理区	11/16	64	24	55	4

担当：農業研究所 野菜・花研究室（086-955-0277）

研究課題名：UECSプラットフォームで日本型施設園芸が生きるスマート農業の実現（H28～H30）
 スイートピーの高品質・安定生産技術の確立（R1～R2）
 冷房処理を活用したスイートピーの着花安定化技術の確立（R4～7）